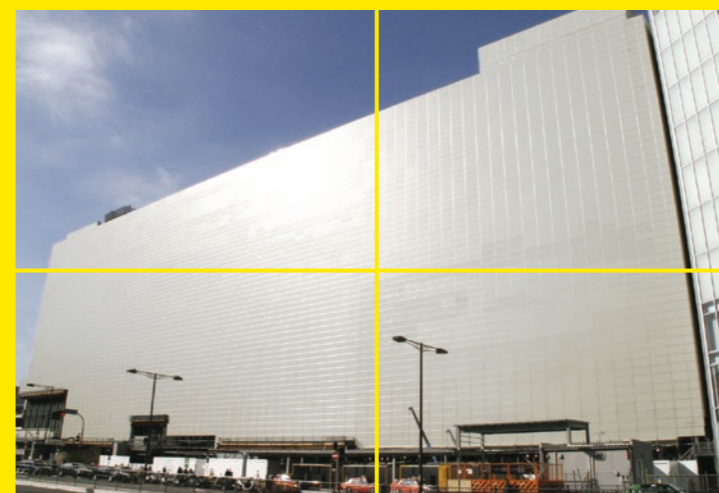


nihonsafety
Challenge to the Dream

軽量・剛性・遮音性に優れた

防音パネル・BG



SOUNDPROOF PANEL

■ レンタル・販売



<http://www.nihonsafety.com>

本社	〒102-0082 東京都千代田区一番町21番地 一番町東急ビル11F
東日本第1営業部	TEL.03-6369-2221 FAX.03-6369-2220
東日本第2営業部	TEL.03-6369-2222 FAX.03-6369-2230
A S 事業部	TEL.03-6369-2225 FAX.03-6369-2220
環境土木事業部	TEL.03-6369-2224 FAX.03-6369-2220
ラップオン事業部	TEL.03-6369-2223 FAX.03-6369-2228
大阪支店	〒541-0053 大阪市中央区本町4丁目5-16 本町スクエアビルII
営業部	TEL.06-6260-1122 FAX.06-6260-1123
東北支店	〒989-1503 宮城県柴田郡川崎町大字川内字七曲山63番地
	TEL.0224-85-2331 FAX.0224-84-2333
名古屋支店	〒496-0026 愛知県津島市唐臼町二ツ池60番地
	TEL.0567-33-0077 FAX.0567-33-0078
広島支店	〒731-0223 広島県広島市安佐北区可部南5丁目6番1号
	TEL.082-819-1877 FAX.082-819-1878
四国支店	〒761-8031 香川県高松市郷東町577番地5
	TEL.087-832-8181 FAX.087-832-8180
九州支店	〒811-2104 福岡県糟屋郡宇美町井野316番地585
	TEL.092-957-6812 FAX.092-957-6813
札幌営業所	〒001-0915 札幌市北区新琴似町574-2
	TEL.011-769-7631 FAX.011-769-7630
静岡営業所	〒421-0303 静岡県榛原郡吉田町片岡8番2
	TEL.0548-32-6661 FAX.0548-32-3456

■ 取扱い店



◆カタログ掲載商品について
このカタログの掲載内容は、2019年4月1日現在のものです。製品改良のため、仕様及び
外観の一部を予告なく変更する場合があります。



都市美観・周辺環境・作業現場の安全を確保 防音パネル 特長・仕様・サイズ

足場にも単管にも専用クランプによりワンタッチで取付けられ、現場作業をスピーディーかつ安全に行うことができます。1枚の重量は約10kgと画期的な軽量化を実現。搬入・搬出・取付けがとても簡単で、しかも密閉性に優れている為、保温、防音、防塵に効果を発揮します。

特長

凹凸のないフラットパネル

フラット性に優れたアルミ積層複合材をパネル面材として使用していますので凹凸が無く都市のビル外装材と同等の高級感を表現します。又、独自の表面意匠によりフレーム表面には接合部材が無く、より高級感を演出します。

軽量化パネルの実現

防音性能とパネル強度を従来品より高め、さらに構成素材の軽量化を図り軽量化パネルを実現しました。メーターサイズ9.7kg、インチサイズ10.0kg。

防錆・防水・耐水性に優れています

使用金属類はアルミニウム製もしくはステンレス製ですのでサビの心配が無く又、吸水しない材料で構成されていますので水洗いも手軽に出来ます。雨水による重量アップも無く常に軽量化パネルとしての特性を活かせます。



仮設工業会防災基準合格品

燃えにくい金属系部材で構成されていますので火災の拡大を阻止します。



仕様

全体図



アルミ樹脂積層複合板の構成図

表面材には軽量、フラットネス、剛性、遮音性という優れた特長を持った、アルミ樹脂積層複合板「プラメタル」を使用しています。



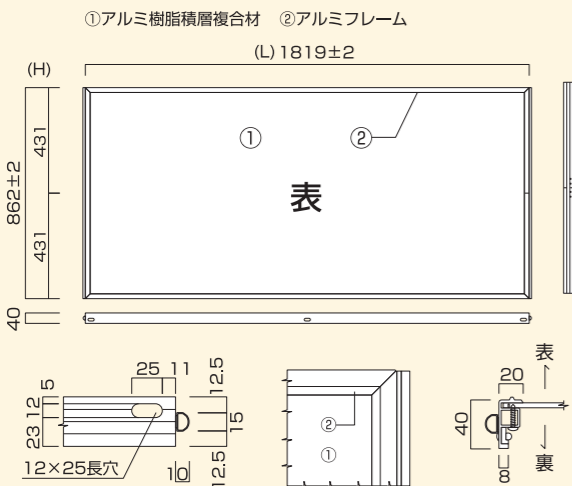
防音パネル裏面



防音パネル断面



概略図



サイズ表

インチ				
	T (mm)	L (mm)	H (mm)	重量 (kg)
18	40	1819	862	10.0
15	40	1514	862	8.5
12	40	1209	862	7.0
09	40	904	862	5.5
06	40	600	862	4.1
コーナー	40	-	862	1.5

メーター				
	T (mm)	L (mm)	H (mm)	重量 (kg)
18	40	1790	850	9.7
15	40	1490	850	8.3
12	40	1190	850	6.8
09	40	890	850	5.4
06	40	590	850	4.0
コーナー	40	-	850	1.5

各種現場のグレードに合わせた高性能防音パネル 採光パネル・認定基準

採光パネル

採光パネルは、“ポリカーボネート”を使用した採光性を求める現場に最適な光線透過パネルです。保温性を高め、風、雨、雪を防ぐので気象条件の厳しい現場環境に最も役立ちます。

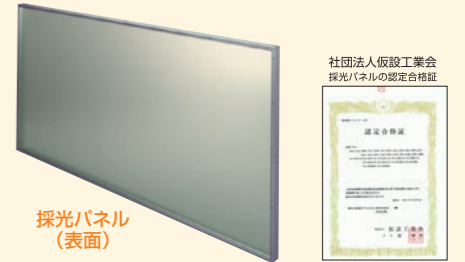
優れた遮音能力を発揮

明り探りの役目を充分にはたすので、現場内を明るくし、作業員の安全対策に貢献します。また、建設現場の近隣住民の日照権を保護し、防音効果と共に近隣対策をも実現します。

高強度・軽量化パネルの実現

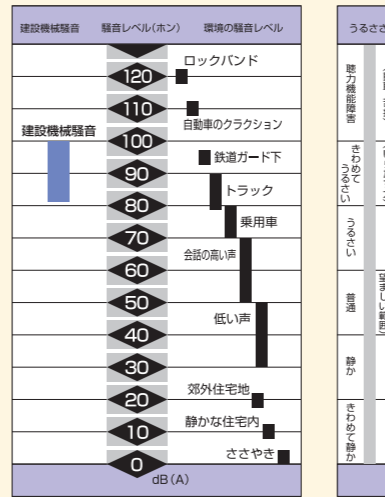
暖かさを現場内に提供します。風、雨、雪の侵入を防ぐと共に太陽熱を採り込むので、冬期並びに寒冷地での現場の保温性の確保に最適です。

インチ			
	L (mm)	H (mm)	重量 (kg)
18	1819	857	11.5



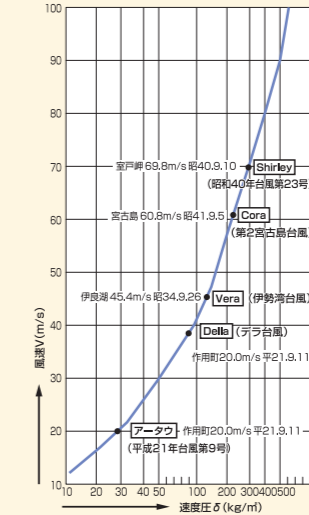
建設機械騒音と環境騒音の比較

建設機械騒音と環境騒音の比較



●建設機械の作業性は音源より30m離れた地点で測定されることが多く、一般には100(A)以下です。
●dB(A)とは世界共通の騒音レベルを表す計量単位で、我々ではホンと呼ぶこともあります。

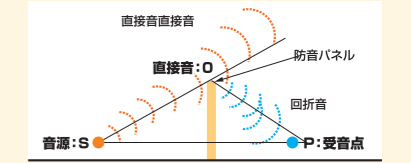
風速 (m/s) 速度圧 (kg/m²) の関係



日本上陸の過去の最大台風速度 (m/s) がどの位の荷重になるのか読み取れます。ビルガードは、350kg/m² (風速75m/s相当) の荷重にも耐える強度試験結果が出ています。

防音パネル設置による減音のしくみ

音は光と同じように波 (波動) です。音源で発生した音が、防音パネルにより音源に回り込むことを回折と言います。音源から受音点に達する間に防音パネルを設けることによって、音が受音点に至るまでの伝搬経路が長くなります。



SO+OP 防音パネルを設けたことによる伝搬経路
SP 音源-受音点伝搬経路
 $\delta = (SO+OP) - SP$
一般的に δ の値が大きければ減音効果は高まります。通常行う騒音予測計算は、この原理に基づいています。

仮設用防音パネルに要求される音響性能

(1) 透過損失
試験方法はJIS A1416「実験室における建築部材の空気音遮断性能の測定方法」とする。
500Hzに対して・18dB以上 1000Hzに対して・23dB以上
遮音壁は直接音を遮るとともに、回折効果により減音させるものであるから遮音壁を直接透過してくる音が、遮音壁の上を越えてくる回折音に比べて十分小さくなくはその効果を発揮できない。透過音が回折音に対して無視しうるレベルとなるためには回折音よりも10dB以上小さな音となる必要がある。また、機械騒音の主な周波数成分は、250~2000Hzの範囲にあると考えられている。以上を考慮して遮音壁の持つべき透過損失の基準値として上記を定めた。

(社) 仮設工業会 認定基準と試験結果

防音パネル仮設工業会認定試験基準

II-O 曲げ強度試験

荷重の最小値	平均値
2.85kN以上	3.14kN以上

II-E 落下試験

落下体である鋼球が供試防音パネルを貫通しないこと。

防火性能

1 防音パネルは、消防法 (昭和23年7月24日法律第186号) 第8条の3に定める次表の防火性能を有するものでなければならない。

防火性能	試験項目	試験結果
防火性能	450g/m ² を越えるもの*	5秒以下
残じん時間	20秒以下	20秒以下
炭化面積	40d以下	40d以下

注) *45°メッシュバーナー法による。
2 上記の防火性能の試験は、公共の機関その他公定した機関で行うものとする。

防音性能

1 防音パネルは、次の表の音響性能を有するものでなければならない。

周波数 (Hz)	音響透過損失 (dB)
500	18以上
1000	23以上

2 上記の音響性能の試験は、日本工業規格A1416 (実験室における建築部材の空気音遮断性能の測定方法) に定める方法により公共の機関その他公定した機関で行うものとする。

ビルガード (防音パネル) 試験結果

II-O 曲げ強度試験

供試体NO.	1	2	3	平均値
強度kN	5以上	5以上	5以上	-
認定基準による値	2.85kN以上 3.14kN以上			

II-E 落下試験

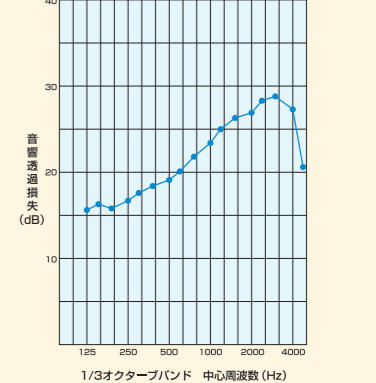
供試体NO.	1	2	3	貫通の有無
貫通の有無	無	無	無	無

防火性能試験 (財団法人 日本防火協会)

消防法施行規則第8条の3の合格基準

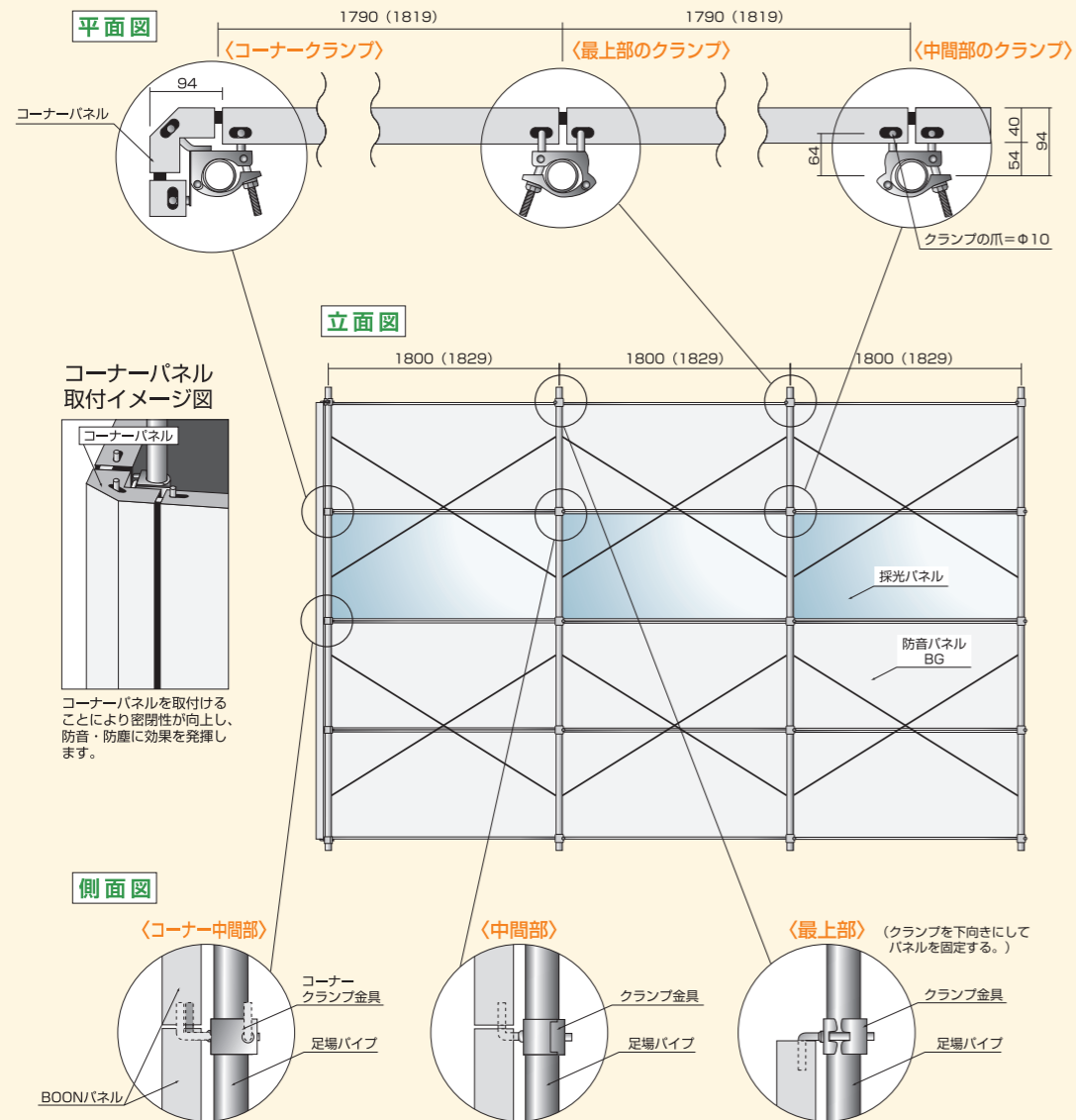
試験項目	残炭時間 (秒)	残じん時間 (秒)	炭化面積 (cm ²)
2分加熱	NO.1 0	0	0
	NO.2 0	0	0
	NO.3 0	0	0
着火後 6秒加熱	NO.1 -	-	-
	NO.2 -	-	-

音響透過損失試験結果 (財団法人 小林理工研究所 測定値)



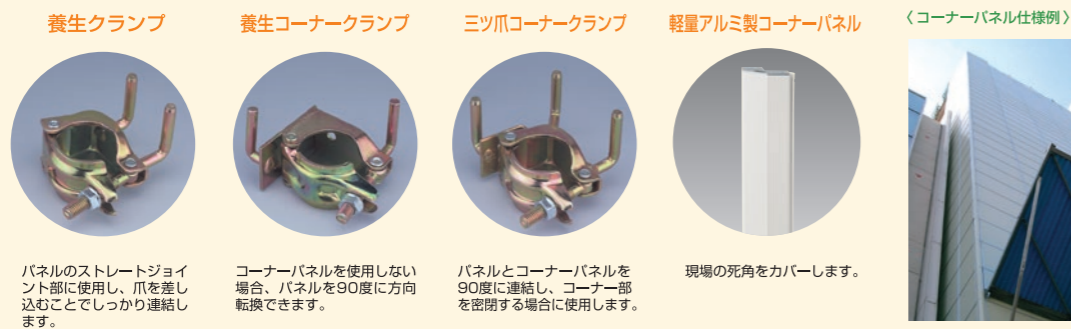
クランプを取付け、ワンタッチで設置可能 取扱い説明・付属部材

パネル取扱い説明



*サイズ表示は、メートルサイズです。()内はインチサイズです。単位はmm。(本図は、足場材による参考図です。専用クランプの使用で、単管にも取付けられます。)

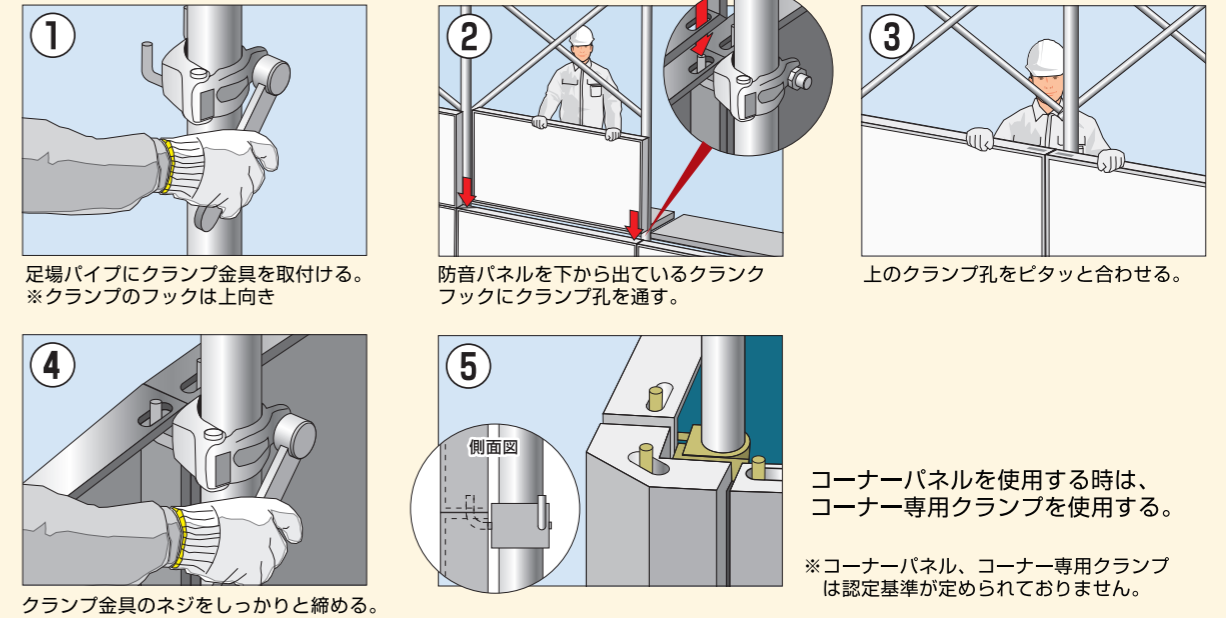
付属部材



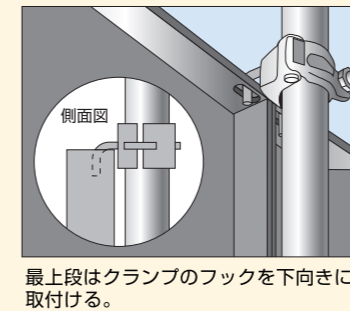
施工順序・実績・使用基準

防音パネル施工順序

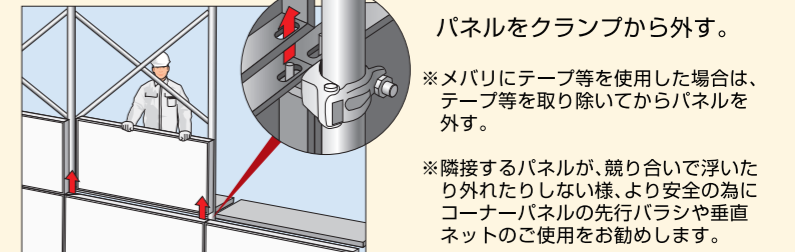
設置



最上段取付け



解体



施工実績



仮設工業会・防音パネルの使用基準

【取付方法】

- 1) 防音パネル用のクランプの取付けは、3.4kN・cm以上4.4kN・cm以下の締付けトルクで行うものとする。
- 2) 防音パネルの防音パネル用のクランプへの取付けは、取付部のかかりしろを大きくするものとする。
- 3) 最上段の防音パネルの上部は、防音パネル用のクランプのフックが下向きとなるように取付のものとする。
- 4) 防音パネルは隣接するパネル間に隙間のないように取り付けるものとする。
- 5) 防音パネルを取付けた枠組足場のつなぎの取付け感覚は、垂直方向3.6m以下、水平方向3.7m以下とする。
- 6) 風速が14mを越える強風時においては、倒壊防止対策を施すものとする。